



活動報告書

「黒田の貝やタナゴを守ろう。」

黒田村づくり委員会

滋賀県木之本町黒田地区を流れる余呉川には、次の通り、希少種のタナゴや二枚貝が生息している。黒田区は、古代の条里制が比較的良好に残っているため、圃場整備事業の話は出ても、最近まで手つかずになっていた。工事の実現性が明らかになるとともに、これらの貴重な生き物が保護しようとの気運がたかまってきた。黒田区には、湖北土地改良区の関係で区内の各組織団体等の代表者でつくる「村づくり委員会」が結成されていたので、この組織が中核となって、人と自然が共生できる環境づくりに取り組むこととなった。

生息している魚：ヤリタナゴ、カネヒラ、アブラボテ、イチモンジタナゴ など

生息している貝：オバエボシガイ、マツカサガイ、ニセマツカサガイ、カタハガイ など

*** 取組の流れ等は、次の通りです。**

- ・ 圃場整備工事着手に先立って勉強会を開催、
- ・ 生態系に配慮した用水路(大沢集落から黒田集落を経て余呉川までの750m、3ヶ所にビオトープ水路・池)の施工、
- ・ 田圃等から魚・貝類を採集して、仮移植場所へ放流、
- ・ 仮移植場所の環境点検、貝類等の観察、
- ・ 完成した用水路へ仮引越していた貝類等の本移植、

活動報告書から助成活動の内容等を抜粋して報告します。

〔活動の状況〕

時系列で活動状況・内容を示すと、次の通りです。

平成13年 8月18日	くろだ「田んぼの学校」開催 参加者41名 圃場整備事業の工事中に同事業完了地域内の生態系保護水系へ一時避難させていた貝類の一部を本移転 この期間中、定期的に次のことを行った。
平成13年8月 ～平成14年8月	・ 貝類移植後の状況観察、・ 水路内状況の点検、・ 水路清掃、 ・ 水路周辺の草刈り
平成14年 4月17日	くろだ「田んぼの学校」打合せ (役員、琵琶湖博物館)
平成14年	「村づくり委員会」 国営水路構造検討会 (生態系配

4月22日	慮型に)
平成14年 5月5日	くろだ「田んぼの学校」開催 参加者54名 貝類移転中間報告会、貝と魚の共生関係の学習会、集 落内水路における魚類観察会
10月9日	工事終了後の導水量及び漏水の有無等について点検を 行った。
11月7日	ホクリクサンショウウオを守る会の例会を開催し、増 殖池の生息環境の整備を行った。
11月21日	増殖池周辺の環境整備を行うとともに、観察会を開催 して水資源の重要性を強調することを決定した。

〔活動の成果等〕

1. 活動に取り組んだ団体は、黒田区の子供会、婦人会、土地改良区、消防団など活動に従事した人員数は、約60名

1. 今回の活動を通じて、区内住民の生態系保護、水環境保全等に対する関心が高まり、貴重種の保護協力体制が実りつつある。

これらの活動が成果あるものとなった要因は、琵琶湖博物館の専門家の指導・情報提供、県・町の行政の援助、地元民の理解と協力、これら三者が一体となって取り組んだことが功を奏したと思われる。

しかし、生態系保護や環境保全の活動は、対象範囲も広く、財政的な問題と長期にわたる継続的な努力が必要であり、各種の支援制度の充実が望まれる。

〔閉じる〕